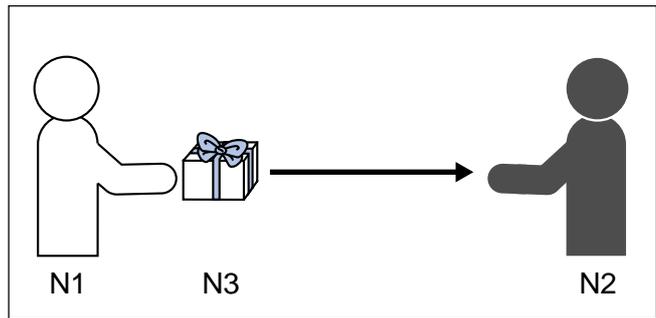


N1 : ものを与える人  
あた ひと  
 N2 : ものを受け取る人  
うと ひと  
 N3 : もの



基 本

例 文

- ① 昨日は吉田さんの誕生日でした。田中さんは、吉田さんに子犬をあげました。  
きのう よしだ たんじょうび たなか よしだ こいぬ
- ② A : 母の日に、お母さんに何をあげますか。  
はは ひ かあ なに  
 B : ひみつです。
- ③ A : マリさんにあげるおみやげは、何がいいと思いますか。  
なに おも  
 B : おはしはどうか。  
 A : そうですね。そうします。



例文 ①

④ ( 掲 示 板 に )

「日本語会話のテープをあげます。ほしい人は連絡してください。」

⑤ A : そのキーホルダー、かわいいですね。どこで買ったんですか。

B : 東京ディズニーランドです。もう一つ持っていますから、これ、あげます。

A : えっ、いいんですか。ありがとうございます。

⑥ 父は、わたしたちがあげたネクタイを毎日しています。

解 説

A. N1がN2に物を与えることを表す。(例文①～⑥)

B. N2は話し手にならない。

C. N1が話し手、またはN1、N2がだれかわかっている場合は、「N1は / が」「N2に」は省略されることがある。(例文②～⑤)

先生へ

N2が動物や植物の場合は、「あげます」の代わりに「やります」を使う。

例1 毎日、花に水をやります。

2 犬にえさをやります。

N2が話し手、または話し手の家族の場合は「くれます」を使う。(p. 277 参照)

例1 田中さんは、ときどき、わたしに日本の切手をくれます。

2 田中さんはわたしの母に日本のお菓子をくれました。

授受表現は、最初に「あげます」を練習したほうがものの「やりとり」を表す表現を理解しやすい。

「あげます」を正確に使えるようにするためには、「ウチ・ソト」の関係の理解が必要である。

(p. 276 参照)

【関連項目】

文 -51 もらいます

【「れんしゅう編」の練習】

13-3 あげもらいパス

13-5 プレゼント

16-5 すずめのお宿